

セブン・シスターズ (2016)

WHAT HAPPENED TO MONDAY?
SEVEN SISTERS

メディア 映画

ジャンル SF サスペンス アクション

製作国 イギリス/アメリカ/フランス/ベルギー

色彩 Color

時間 123分

初公開日 2017/10/21

公開情報 コピアポア・フィルム

映倫 R15+

【キャッチコピー】

7人がシェアしたのは、たった一人の人生。

一人っ子政策を強行する国家 vs. 7人の姉妹
闘いの果てに彼女たちが見たものは…

【解説】

「ミレニアム」シリーズ、「プロメテウス」のノオミ・ラパスが7つ子姉妹を1人で演じるSFサスペンス。ひとりっ子政策が強行された近未来の管理社会を舞台に、1人の人格を生きること生き延びてきた7つ子の姉妹を待ち受ける過酷な運命を描く。共演はグレン・クローズ、ウィレム・デフォー。監督は「処刑山 -デッド・スノー-」「ヘンゼル&グレーテル」のトミー・ウィルコラ。

地球資源の枯渇と、遺伝子組み換え作物の影響による多生児の増加により、強制的な人口抑制が行われるようになった2073年の欧州連邦。そこではひとりっ子政策が施行されており、2人目以降は“児童分配局”に連行されて冷凍保存措置がされることになっていた。そんな中、“月曜”から“日曜”まで各曜日の名前を持つセットマン家の7つ子姉妹は、それぞれが週1日だけ外出し、7人でたった1人の人格カレン・セットマンを演じることで児童分配局をあざむき、30歳まで生き延びてきたのだった。ところがある日、“月曜”が夜になっても帰宅しないという非常事態が発生する。これを皮切りに、他の6人にも危険な魔の手が迫ってくるのだったが…。

【クレジット】

監督	トミー・ウィルコラ	Tommy Wirkola
製作	ラファエラ・デ・ラウレンティス ファブリス・ジャンフェルミ フィリップ・ルスレ	Raffaella De Laurentiis Fabrice Gianfermi Philippe Rousselet
製作総指揮	ティエリー・デミシェル ガイ・ストーデル	Thierry Desmichelle Guy Stodel
脚本	マックス・ボトキン ケリー・ウィリアムソン	Max Botkin Kerry Williamson
撮影	ホセ・ダビ・モンテロ	José David Montero
プロダクションデザイン	ジョセフ・ホッジズ	Joseph Hodges
衣装デザイン	オアナ・ポーネスク	Oana Paunescu
編集	マルティン・シュトルツ	Martin Stoltz
音楽	クリスティアン・ヴィーベ	Christian Wibe

出演

ノオミ・ラパス

Noomi Rapace

セットマン家の7姉妹

マーワン・ケンザリ

Marwan Kenzari

エイドリアン・ノレス

ウィレム・デフォー

Willem Dafoe

テレンス・セットマン

クリスティアン・ルーベク

Christian Rubeck

ジョー

グレン・クロース

Glenn Close

ニコレット・ケイマン